

子ども水道新聞

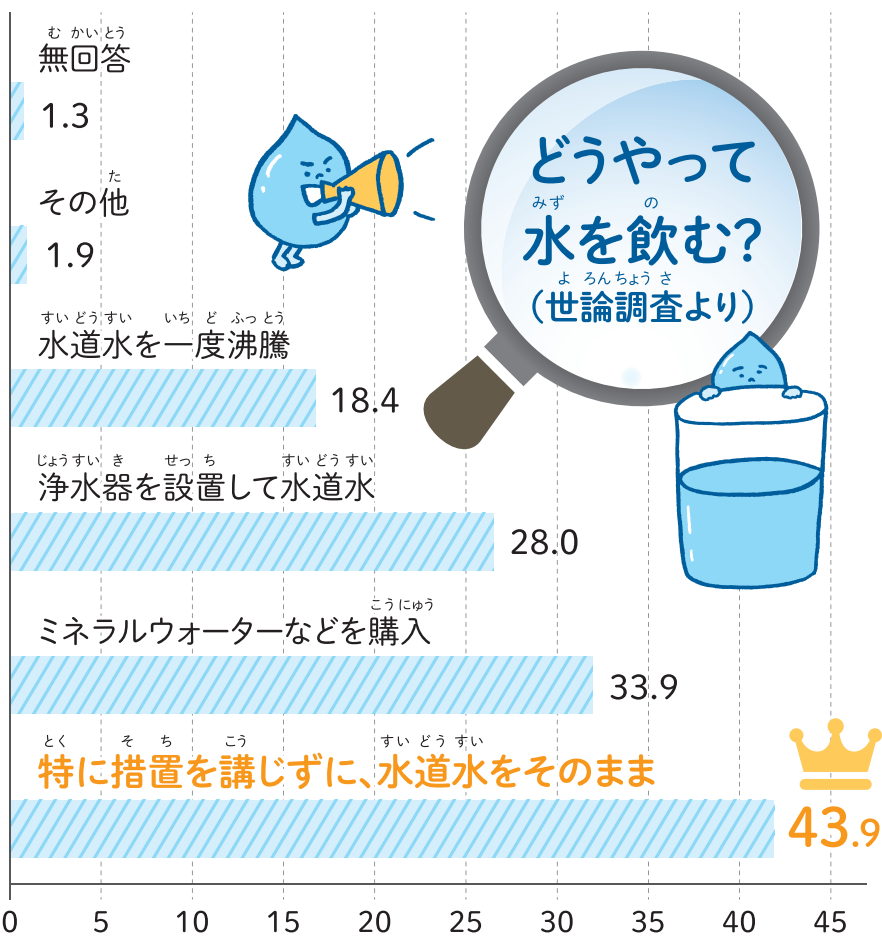
全国調査

水道水飲まなきて

損!?

世界に目を向けると、水道の水をそのまま飲める国は日本を含む8か国しかありません(参考:国土交通省「令和元年版日本の水資源の現況」。経済的な理由などで水道自体を整備できないところもあれば、水道があっても、シャワーやトイレなどに使うことが目的であったり、飲み水としては配っていないところもあるからです。安全安心の日本の水道水、飲まなきゃ損です!

「そのまま飲む」がトップに!
内閣府が令和2年の10~12月に行った「水循環に関する世論調査」で、水をどのように飲んでいるかという質問をしました。回答項目は「特に措置を講じずに、水道水をそのまま飲んで(蛇口からの水をそのまま飲む)」、「ミネラルウォーターなどを購入して飲んでいる」、「浄水



器を設置して水道水を飲んでいる」、「水道水を一度沸騰させて飲んでいる」、「その他」です。調査票は、全国18歳以上の3000人にランダムに郵送され、そのうち1865人が回答し、項目の中から当てはまるものすべてにチェックをつけました。

その結果、「特に措置を講じずに、水道水をそのまま飲んで

いる」という回答が全体の43.9%で最も多くなりました。そのほかの回答は、「ミネラルウォーターなどを購入して飲んでいる」が33.9%、「浄水器を設置して水道水を飲んでいる」が28.0%、「水道水を一度沸騰させて飲んでいる」が18.4%、「その他」が1.9%、無回答が1.3%という結果でした。

メイドインジャパンの水道は特別!
水道法のとおり、日本の水道水は、経済性はもちろん、安全性を第一にしています。全国ど

値段を見てみよう
水道水とミネラルウォーターとの大きなちがいの一つは値段です。実際に比べてみましょう。日本では一人一日あたり約280リットルの水を使います。全てをミネラルウォーターでまかなおうとすると、一日に約5万6000円かかることになります。これに対して水道水は、地域によって値段はちがいますが、ミネラルウォーターの1200分の1程度の値段と

なっています(ミネラルウォーターを500ミリリットル当たり100円とした場合)。水道水が経済的であるべきことは、「水道法」という法律にも書かれています。水道法では、安全な水を、安く、豊富に供給することで、くらしの環境を清潔に保ち、人々の健康を守ることを水道の使命としています。

このまちの水道水も、国が定めた水質基準を守っています。水道の水質基準には、飲んでも健康に影響が生じないよう安全性をチェックしたり、「色がつかない(洗濯物等に色がつかのをふせぐ)」、「石けんの泡立ち等に影響がでない」、「おいしい水の観点」など、水道水のもつべき性質に気を付けた項目が5もありました。

水道水の安全・安心と品質を守るために、毎日水道局の人が努力しています。中にはより安全でおいしい水道水とするために、浄水処理をレベルアップさせたり、独自に国より厳しい水質基準を設定しているまちもあるほどです。